

事務事業評価シート(平成20年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
01402	職員安全衛生管理事務	総務課	職員係	小澤 辰一	飯澤 誠
		一次評価年月日	平成 21 年 6 月 26 日	連絡先(内線)	2205
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0201	一般管理事務	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	6章	活気に満ちたまちづくり
		節	(コード選択)	5節	地方分権化に積極的に対応する
		項[基本施策]	(コード選択)	651	町民満足度重視の計画的な行政経営の実現
		主な取り組み	(コード選択)	6514	職員の意識改革
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町職員(臨時的職員含む)

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

職員が健康で安全に勤務できるようにする

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 定期健康診断の実施
- 2 人間ドック、脳ドック受診の促進
- 3 安全衛生委員会の実施
- 4 メンタルヘルス対策の促進

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	検診の実施数	回	5	7	5		5
	説明	検診種目数	目標値設定の根拠	胃・大腸、職員健診、臨時職員健診				
②	指標名	安全衛生委員会開催数	回	1	1	3		4
	説明	委員会、職場巡視の開催数	目標値設定の根拠	四半期に1回				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	検診受診率	%	75	84	85		90
	説明	職員健康診断受診率	目標値設定の根拠	19年から22年に毎年5%アップを指標とする				
②	指標名	公務・通勤災害認定者数	人	3	5	3		3
	説明	認定者数	目標値設定の根拠	19年の件数を維持する指標とする				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	3,114	2,389	3,411	3,411																	
対前年比		%		76.7	142.8	100																	
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																							
B) 一般財源(税金)																							
①事業費		(千円)	2,450	1,729	2,721	2,721																	
対前年比		%		70.6	157.4	100																	
②人件費の概算		(千円)	664	660	690	690																	
対前年比		%		99.3	104.5	100																	
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費												
			H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22											
町職員(正規職員)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00	0.05	0.05	0.05	0.09	0.09	0.09	0.09	664	660	690	690
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート										0	0	0	0							

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	B	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 健康診断を受診できない職員のため近頃の住民健診を受けられるよう厚生連と調整する。
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 安全衛生委員会からの報告や職員労働組合からの要求等で把握する。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

平成20年より特定健診が加わり、職員と臨時職員と異なる健診となった。そのための事務手続きなど業務量が増えたが、被扶養者も一緒に健診実施が可能となり利便性も上がった。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

21年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

特定健診が始まり、職員健診は保険者ごとに健診方法が異なるので、その内容を職員に分かりやすく伝え、健診率が向上するようにする。また、受診時間の割り振りをおこなうことで受診時間のバラツキを少なくし、効率化を図る。

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

特定健診の認識、職員検診の重要性を意識付け、一層職員の健康管理を推進する。また、メンタルヘルスに係る予防、指導の対応策の検討が必要である。

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

b 上記 a~e を選択